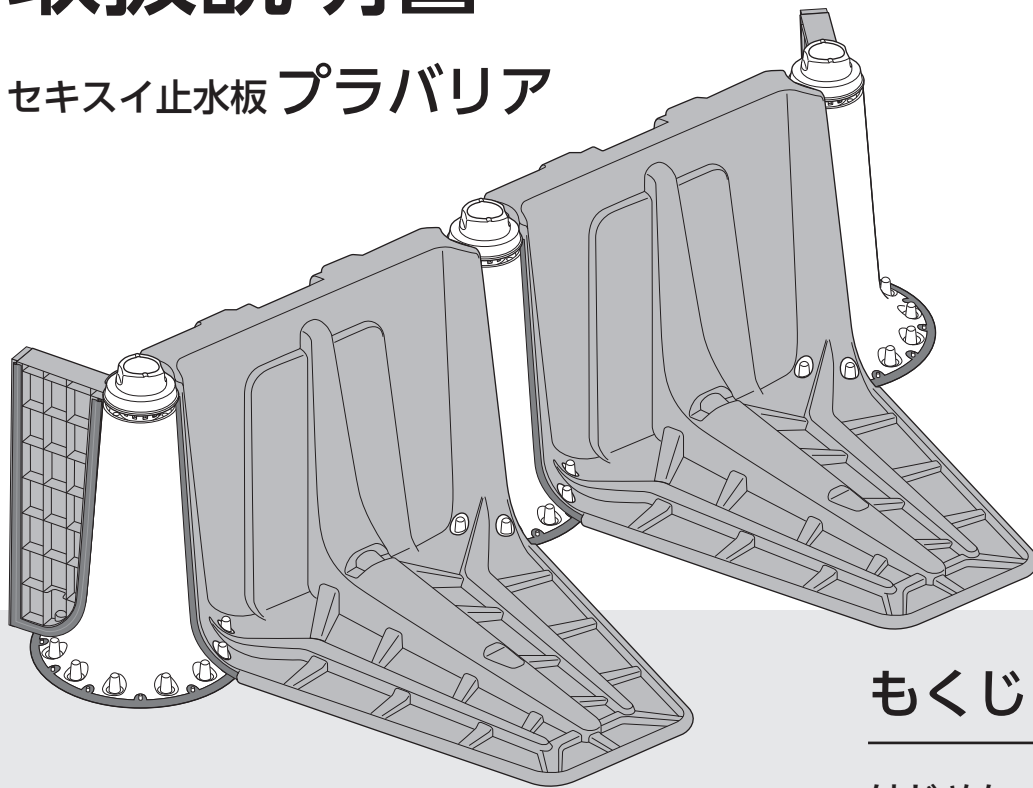


## 取扱説明書

### セキスイ止水板 プラバリア



このたびは、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。  
また、この取扱説明書をいつでもご覧になれる場所に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(P.3)を必ずお読みください。
- 本書に使用している画像やイラストは、説明イメージのため、実際とは多少異なる場合があります。
- 納入時に注文した部品が全て含まれていることを確認してください。

## もくじ

はじめに	2
安全上のご注意	3
各部の名称とはたらき	4
設置方法	6
保管方法	8
お手入れ方法	9
止水ゴム部材の交換方法	9
廃棄について	11
保証期間	11
免責事項	12
仕様	12

### お問い合わせ先

積水テクノ成型株式会社  
産業用品営業部

<https://sekisui-techno-molding.jp/>

〒105-8566 東京都港区虎ノ門2丁目10番4号オークラブレステージタワー 21F  
TEL. 03-6626-2749

〒530-8565 大阪市北区西天満 2-4-4 堂島関電ビル 5F  
TEL. 06-6365-5472

# はじめに

## セキスイ止水板プラバリアの概要

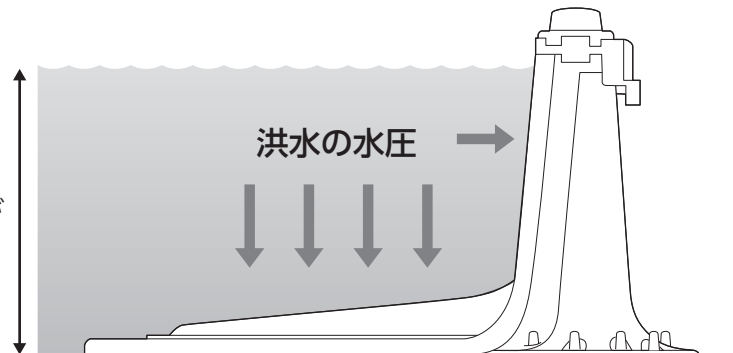
軽量、少人数での迅速な設置・撤去作業が可能で止水効果が見込まれるプラスチック製の「止水板」で、工事不要な設置型の洪水減災パネルです。

- 止水板は止水性を保証するものではなく、設置環境で大きく性能が変化します。
- 完全止水商品ではございません。正しい設置方法による浸水被害を軽減するもので、あくまで土のうの代替としてご使用ください。
- 止水性能：漏水量  $50 \text{ L}/(\text{h}\cdot\text{m}^2)$  を超え、 $200 \text{ L}/(\text{h}\cdot\text{m}^2)$  以下  
(注)・JIS A 4716 を参照した社内試験にて漏水量を確認した結果となります。  
・数値は平地面 静水位 50 cm 時の実験値であり保証値ではありません。

## 止水のしくみ

止水板底面部に向けてかかる水圧で、製品が固定されます。

最大止水高さ約 50cm  
※使用環境により止水高さが低くなる場合があります。

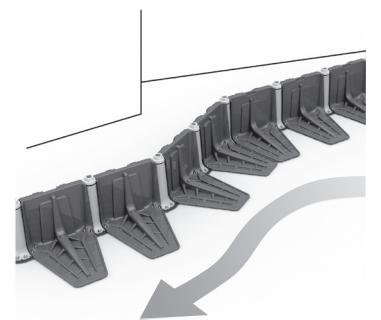


流れを止める



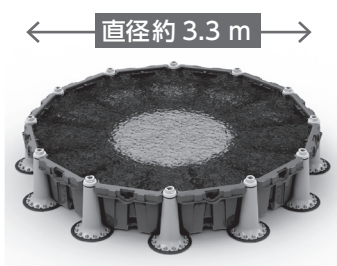
店舗入り口や住宅のエントランスに

流れを変える



避難道路の確保に

貯める



漏水の貯留、緊急備蓄用水に（ブルーシートを併用）  
エンドパーツは使わずに、円形状にてご使用ください。

囲う





屋外駐車車両の水没リスクの低減に




# 安全上のご注意

記載の警告・注意事項は、止水板を安全にお使いいただき、危害や損害をより未然に防ぐための重要な内容です。









■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 <b>注意</b>	「軽傷を負うことや、機能上水が漏れたり財産の損害が発生するおそれがある内容」です。









■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	気をつけていただく内容 (注意喚起事項) です。		してはいけない内容 (禁止事項) です。		実行しなければならない 内容 (強制事項) です。
---	-----------------------------	---	-------------------------	---	------------------------------

## 警告

-  **止水板の改造は絶対にしない**  
強度低下や破損および転倒による事故の原因になります。
-  **災害発生中の設置は絶対にしない**  
生命に関わる事故が発生するおそれがあります。
-  **設置作業時は取扱説明書に基づき、正しい施工方法で確実に連結されていることを確認する**  
止水効果の低下と破損の原因となります。  
生命に関わる事故が発生するおそれがあります。
-  **破損したものや異常 (ゴムパーツの変形等) が確認された製品は絶対に使用しない**  
止水効果の低下と破損の原因となります。  
生命に関わる事故が発生するおそれがあります。
-  **水が完全に引いたことを確認できるまで止水板を撤去しない**  
予期せぬ豪雨や洪水などの発生により、生命に関わる事故が発生するおそれがあります。
-  **止水板を廃棄するときは、焼却しない**  
有毒ガスの発生など、危険を及ぼす原因となります。  
廃棄するときは専門業者へ依頼するか、各自治体のルールに従って廃棄ください。
-  **火気の近くで使用しない**  
やけどや製品の変形の原因となります。
-  **製品にもたれたり、乗ったりしない**  
変形や破損、転倒による事故の原因となります。

## 注意

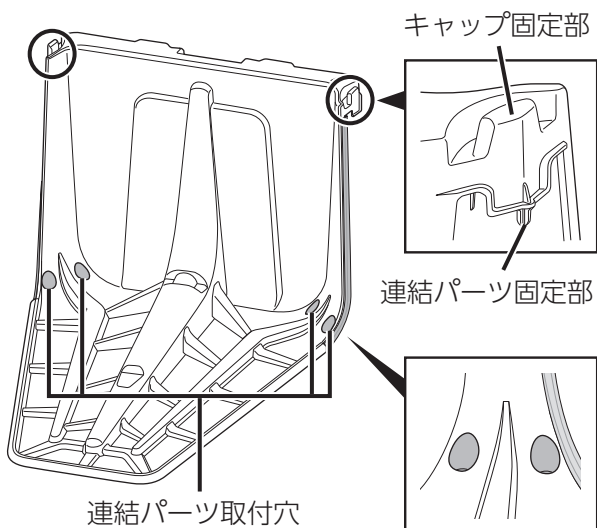
-  **作業時は必ず手袋などを着用し手や指を保護する**  
手や指を切るなどけがをするおそれがあります。
-  **止水目的以外で使用しない (運動具や遊びなど)**  
破損や転倒による事故の原因となります。
-  **作業中の風に注意する**  
けがや転倒の原因となります。  
作業中の風には十分に注意してください。
-  **強風時は設置した製品に、土のう等の重りやロープ等で固定し飛ばされないようにする**  
製品や飛来物によるけがや転倒の原因となります。  
設置作業には十分に注意してください。
-  **傾斜がある場所には設置しない**  
製品の転倒、破損による事故の原因となります。
-  **凹凸の少ない平坦な地面で使用する**  
凹凸が大きいと漏水する可能性があります。  
下記の場所で使用する場合は、著しく性能が低下する原因になります。  
●砂利、砂地などの凹凸がある設置面
-  **設置、撤去移動時などに、製品を引きずらない**  
止水ゴム、コーンリングが破損するおそれがあります。
-  **貯水した水は、飲料用として使用しない**

# 各部の名称とはたらき

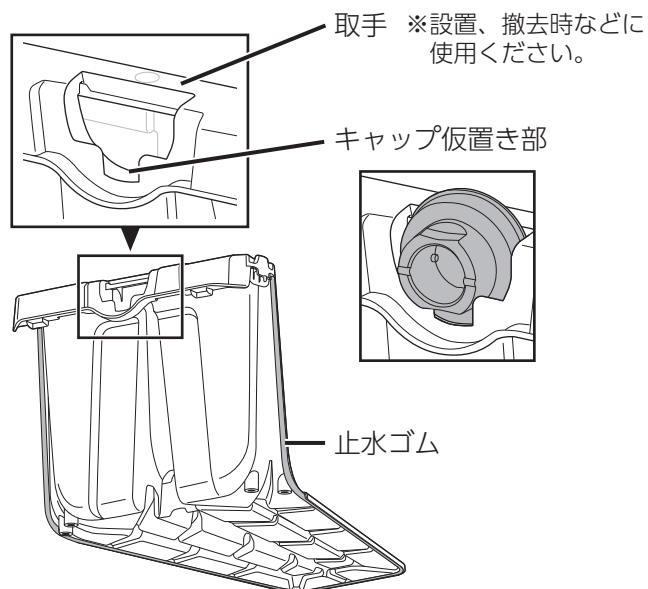
## メインパネル

メインパネルは、止水板として機能

〈メインパネル（正面）〉

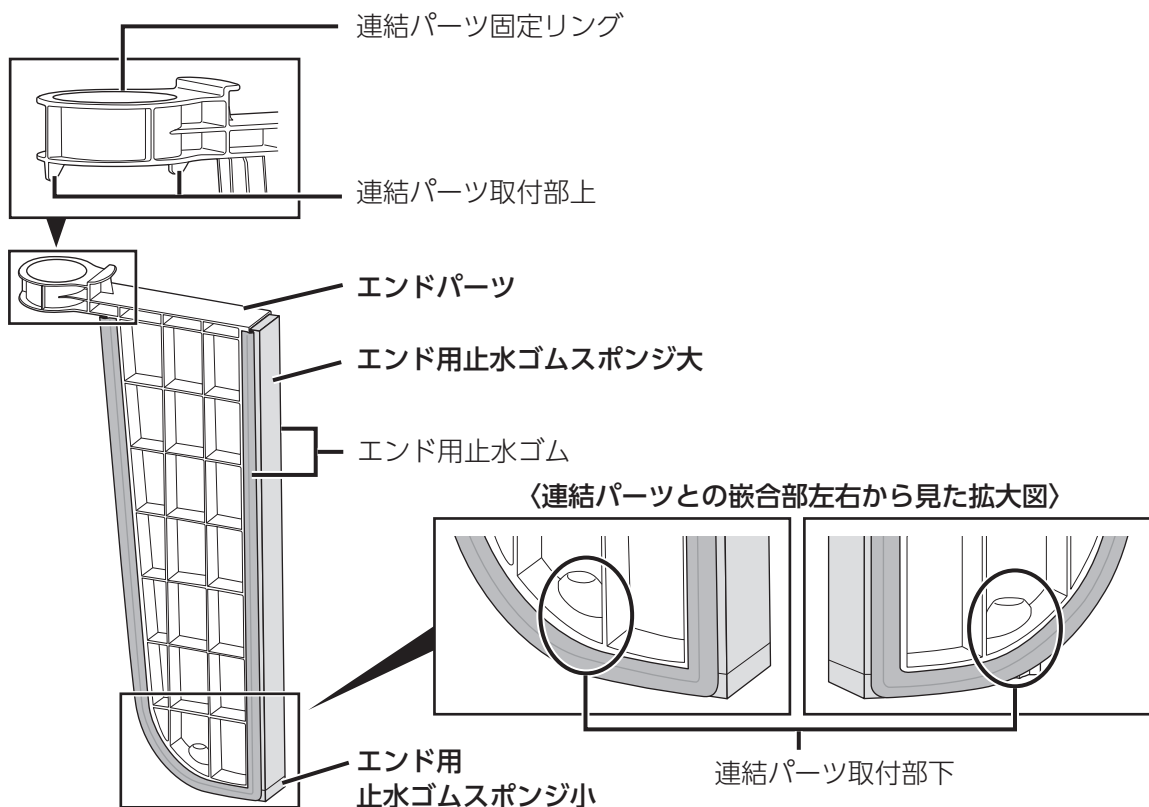


〈メインパネル（背面）〉



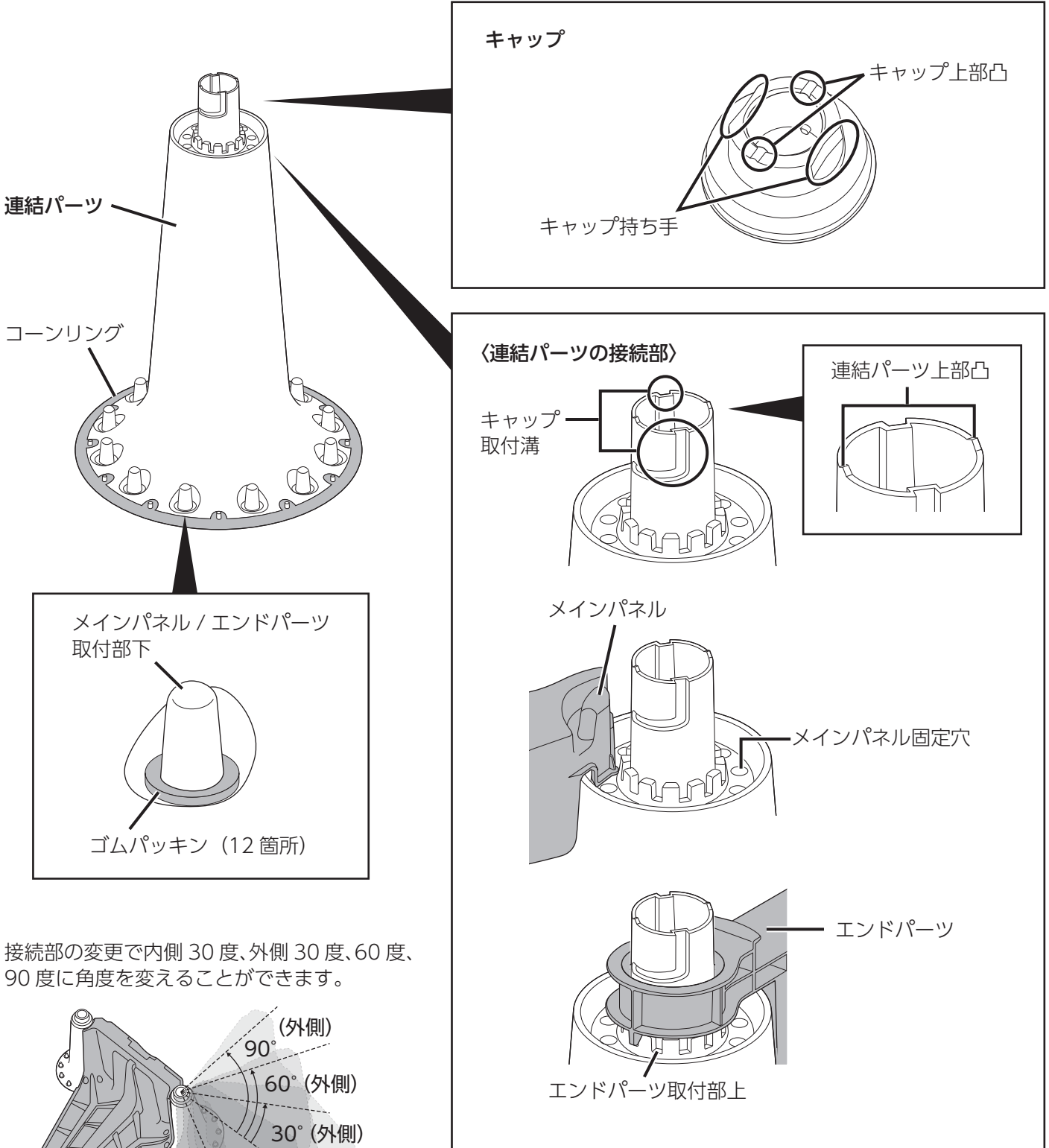
## エンドパーツ

エンドパーツは、側面壁と背面壁兼用可能な端部止水部材（両側兼用）



## 連結パーツ

連結パーツは、メインパネル同士の接続とエンドパーツとの接続に使用



# 設置方法

設置方法は HP 上の動画でご確認いただけます  
<https://sekisui-techno-molding-products.jp/plabARRIER/>  
掲載内容や URL は、予告なく変更・削除されることがあります。



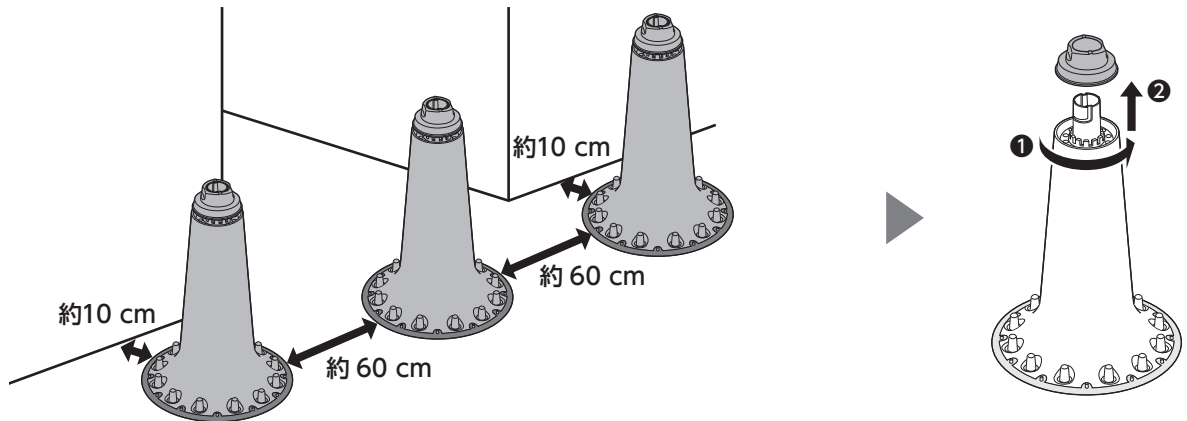
## 1 設置場所の確認

作業前に手袋の装着をお願いします

- 設置前に必ず製品に亀裂など異常がないか確認し、異常がある場合は絶対に使用しない。
- 設置場所から石やゴミを撤去する。
- 地面や壁面の凹凸などで、水漏れ原因となるすき間が発生しないか確認する。
- 止水板の下に点字ブロックや排水溝などが無いことを確認する。(止水性が著しく低下します)
- 設置面にすき間がある場合は、土のうや防水テープなどを使用してすき間をしっかりと埋めてください。

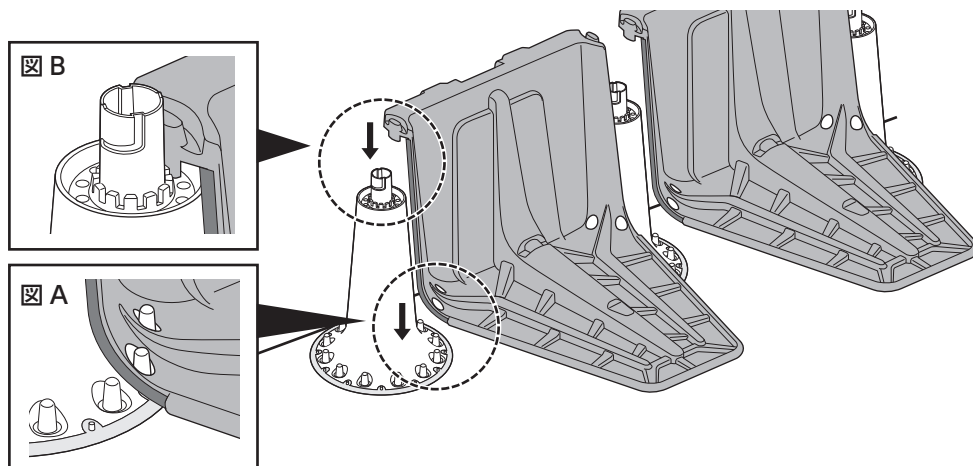
## 2 連結パーツを止水したい場所に配置

- ①連結パーツを、止水したい設置壁面端部より 10 cm 程度離れた位置に配置する。
  - キャップを持たない。(連結パーツが落下するおそれがあります)
- ②連結パーツを止水したい場所に約 60 cm 等間隔で必要な幅まで並べ、キャップを両手で外す。



## 3 メインパネルを連結パーツに接続

- ①メインパネルの背面側に立ち、止水したい方向に向かいメインパネルを連結パーツに接続する。
  - 連結パーツのメインパネル取付部下と、メインパネルの連結パーツ取付穴がしっかり接続されていることを確認する。(図 A)
  - 連結パーツのメインパネル固定穴と、メインパネルの連結パーツ固定部がしっかり接続されていることを確認する。(図 B)



## 4 エンドパーツを連結パーツに接続しキャップでロック

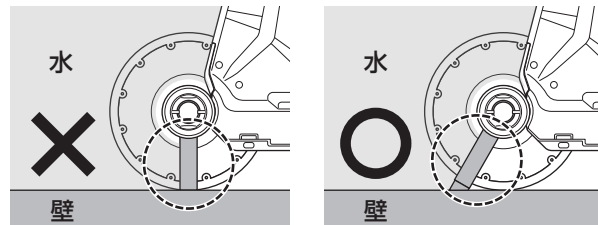
### ①エンドパーツの取り付け位置を確認する。

- すき間が空いてないことを確認してください。

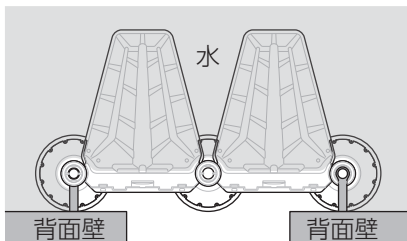
#### 【エンドパーツの設置条件】

条件 1：水が溜まる方向に対して、角度をつける

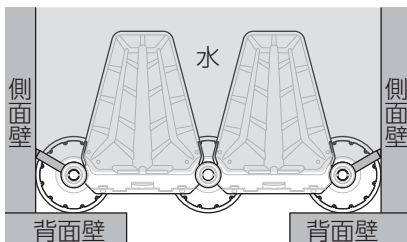
条件 2：どちらかのエンドパーツは背面壁を利用する



#### 設置 NG 例

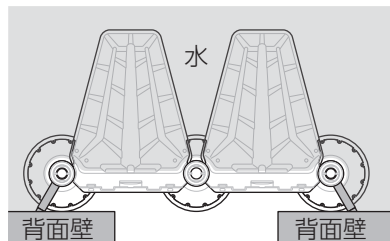


✕ 水が溜まる方向に対して角度がない



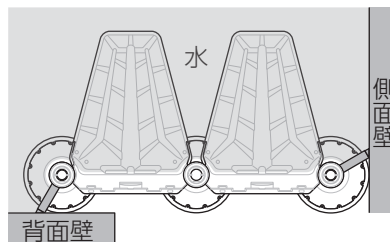
✕ 背面壁を利用していない

#### 設置 OK 例



○ 水が溜まる方向に対して角度がある

○ 背面壁を利用している

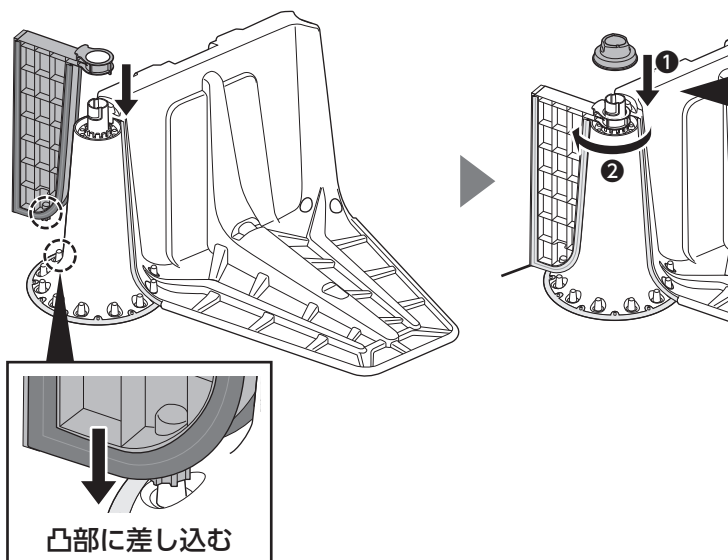


○ 水が溜まる方向に対して角度がある

○ 背面壁を利用している

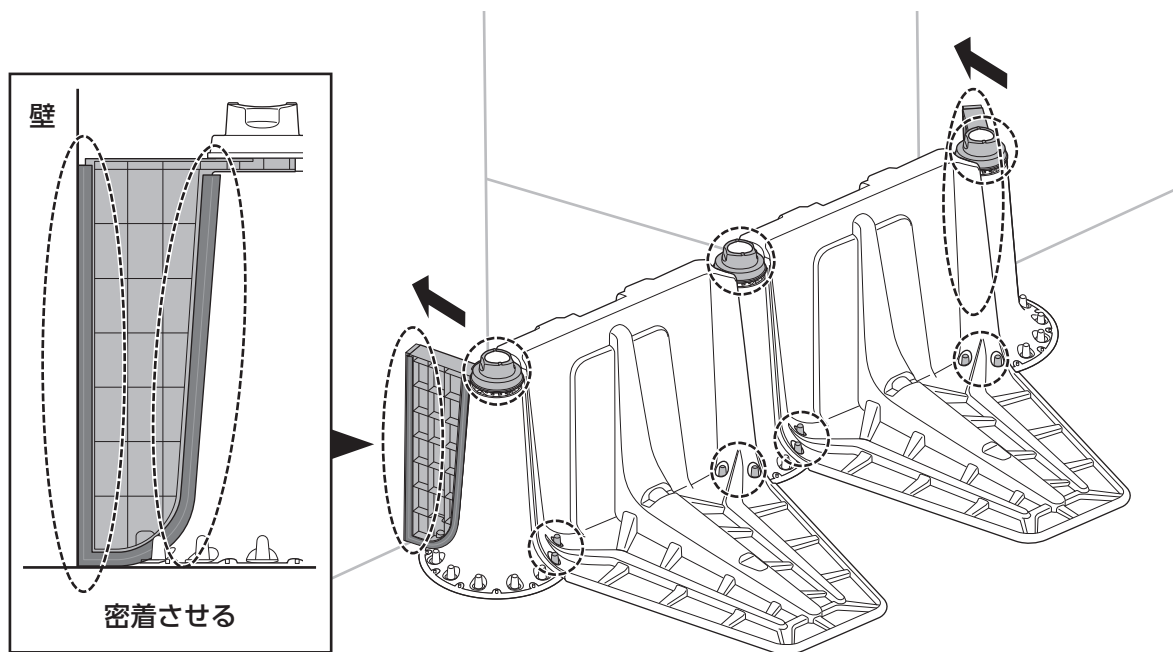
### ②両側にエンドパーツを接続後、キャップでロックする。

- キャップのロック時は、指が挟まれないように注意する。
- キャップは 90 度回し、ロックしたことを確認する。



③両側のエンド用止水ゴムと止水ゴムスポンジが潰されるほど強く壁面に押し付ける。(設置完了)

- 以下を確認する。
  - エンドパーツが壁面に密着していること
  - 各連結部がそれぞれ確実に接続されていること



#### 撤去時のご注意

キャップを外してから、それぞれのパーツを片付ける。

- 水が溜まっている状態での止水板撤去は禁止

## 保管方法

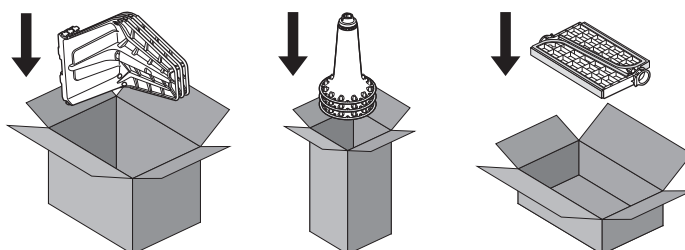
製品に負荷がかかると変形するおそれがあるため、凹凸がある場所は避ける

平らな面で保管してください。

#### 保管時は直射日光を避ける

製品の劣化や耐久性低下の原因となります。

- それぞれを梱包状態に戻し、製品ごとに保管してください。(連結状態での保管禁止)
- ブルーシート等で全体を覆い、直射日光を避けてください。



暖房機による熱、エアコンの風が直接あたる場所、湿気、乾燥の著しいところでの保管は避ける

#### 段積み、横倒し禁止

段ボール記載の積段数制限以上に積み重ねないでください。



# お手入れ方法

## 製品のお手入れ

### 泥汚れなどは、水洗いでしっかり落とす

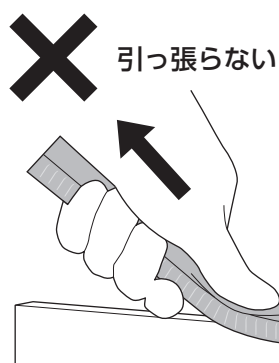
- 水に濡れたままの状態では放置しないでください。ご使用後は必ずタオルなどの布でよくふき取り乾燥させる。
- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤でふき取り、さらに乾いた布で水分や洗剤が残らないように十分にふき取ってください。
- 細部がよく乾燥するまで陰干しを行ってください。
- ふき取りや乾燥が不十分な場合、劣化の原因やカビなどの発生原因となります。
- アルコールやシンナー系溶剤、強酸性洗剤などは絶対使用しないでください。
- 止水ゴム部材は脱着式のため交換ができます。劣化している場合は、販売店までお問い合わせください。

### ご注意

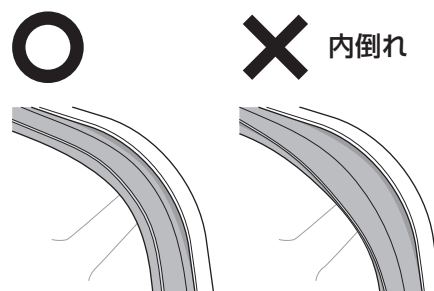
年に1度は必ず破損の有無や、止水ゴム部材の変形や劣化チェックを行ってください。異常がありましたら使用を中止し、販売店または当社へご連絡ください。

## 止水ゴム部材の交換方法

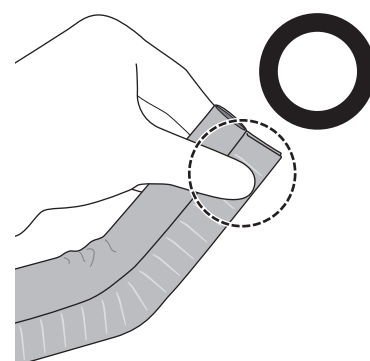
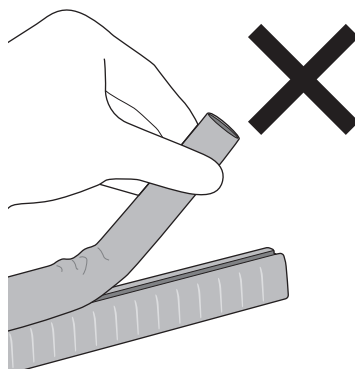
- 引っ張りながらの押し込みはしないでください。伸ばされることにより、接地面にすき間ができ止水性能が低下するおそれがあります。※特にコーナー部分



〈コーナー部分〉



- 止水ゴムは、接地面側（筒状）のみを持って引っ張ると中央から裂けます。押し込まれた止水ゴムの根元から取り外してください。

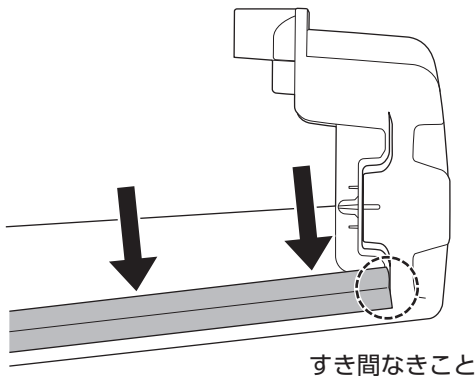


## メインパネル

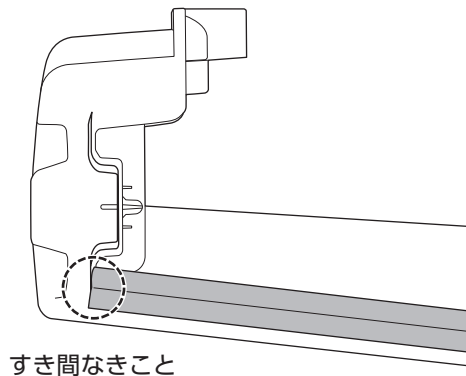
### 止水ゴム：1個

- ①片側の端から、先端を合わせ押し込みながら進みます。
- ②反対側の端まで押し込む。
- ③伸ばされた箇所がないか、奥まで押し込まれてるか確認し、余分はカットします。
  - すき間がないようにカットする。(カット時のけがに気をつけてください)

〈左側面〉



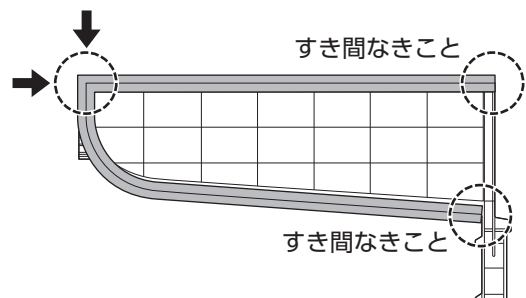
〈右側面〉



## エンドパーツ

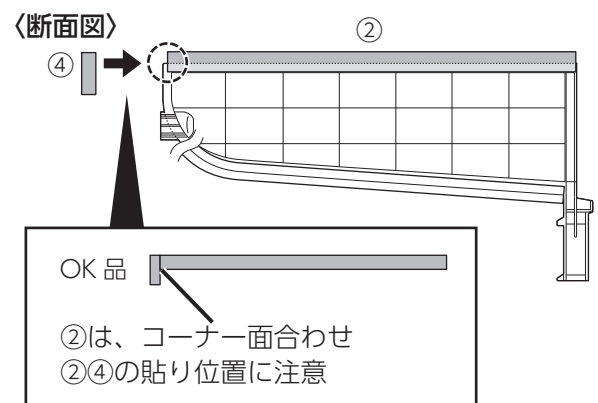
### エンド用止水ゴム：2本

- ① 止水ゴム L 型の 90 度のコーナー合わせで、押し込みながら進みます。
- ② 反対側の端まで押し込む。
- ③ 伸ばされた箇所がないか、奥まで押し込まれてるか確認し、余分はカットします。
  - すき間がないようにカットする。



### エンド用止水ゴムスポンジ：各1個

- ① エンド用止水ゴムスポンジ大のシール台紙を剥がす。
- ② エンドパーツの 90 度のコーナー合わせで、はみ出さないように貼り付ける。(面合わせ)
- ③ エンド用止水ゴムスポンジ小のシール台紙を剥がす。
- ④ ②で貼り付けたゴムスポンジの角合わせで、はみ出さないように貼り付ける。
  - 交換前のゴムスポンジは、きれいに取り除いてください。(シール剥がし剤推奨)

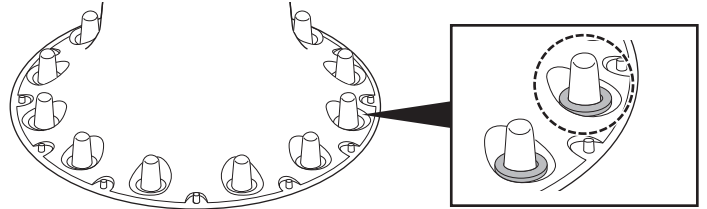


## 連結パーツ

### ゴムパッキン：12個

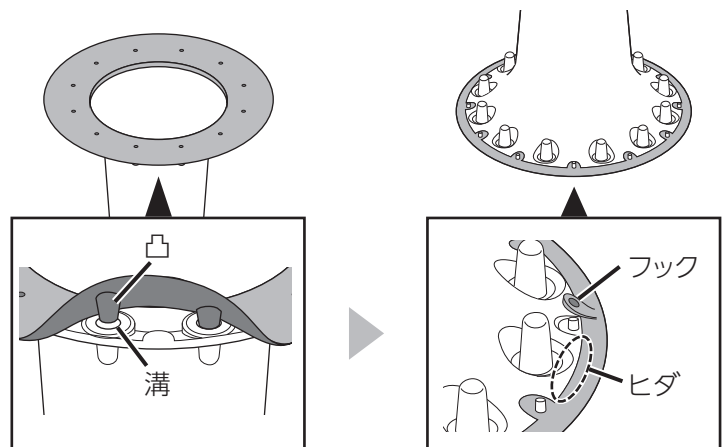
ゴムパッキン（12箇所）は、台紙を剥がし凸部の根本の溝に合わせてしっかり貼り付ける。

- 交換前のゴムパッキンは、きれいに取り除いてください。（シール剥がし剤推奨）



### コーンリング：1個（12箇所凸部）

- ① 連結パーツを逆さにし、コーンリングを被せて内側の溝と12箇所凸を合わせて、コーンリング底面が平らになるように押し込みます。
  - ② 連結パーツを起こし、12箇所のフックとヒダを連結パーツに掛ける。
- コーンリングは保管状態により表面に白い粉が発生する可能性があります。品質には影響ありません。（白い粉は水につけると消えてなくなります）



## 廃棄について

止水板を廃棄するときは、焼却しない

- 有毒ガスの発生など、危険を及ぼす原因となります。

廃棄するときは専門業者へ依頼するか、各自治体のルールに従って廃棄ください。

## 保証期間

### 保証期間

納入日から1年間

- 納入日が保証期間の開始日となりますので、納品書や請求書などの納入日がわかる書類を、本書と一緒に大切に保管してください。

### 保証対象

未使用かつ当社指定の保管方法に従って保管されている製品

### 保証内容

左記保証期間内において、左記保証対象に当社の責に帰すべき不具合があると認められた場合には、無償にて修理いたします

- 遠隔地等への出張修理の場合、移動に要する実費をいただく場合があります。
- ゴム製の部材は保証の対象外です。
- 次ページの免責事項に該当する場合は保証の対象外です。

# 免責事項

- ①天災その他不可抗力（例えば、地震、津波、噴火、落雷、地盤沈下、火災、土砂災害、漂流物など）による製品の不具合またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
- ②製品または部品の経年変化（使用に伴う変化）による摩耗・傷や経年劣化（時間に伴う劣化）による変質・変色、その他の不具合
- ③製品周辺（設置場所および保管場所）の自然環境またはその他の不具合（例えば塩害による腐食、大気中の砂塵、すす、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食、高温・低温・多湿による不具合など）
- ④犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物またはつるや根などの植物に起因する製品の不具合
- ⑤取扱説明書などに表記された警告事項や、取付方法を遵守していない設置方法、またはご使用方法に起因する不具合
- ⑥取り扱いの誤りによる変形、変質、破損または適切な保管方法や維持管理を行わなかったことによる不具合
- ⑦カタログや取扱説明書に記載された製品の性能を超えた場合の不具合（例えば最大止水高さを超えた水位に起因するものなど）
- ⑧本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または本来の使用方法とは異なる使用方法による不具合
- ⑨浸水・漏水による家財の被害
- ⑩犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- ⑪その他、不具合の原因が第三者にある場合
- ⑫本書の提示がない場合

## その他

- ①浸水・漏水による家財等の被害は補償いたしかねます。
- ②保証期間外の修理・交換などは、有料となります。
- ③当社の故意又は重大な過失によるものを除き、製品に関する当社の保証は上記の無償修理に限られます。

# 仕様

商品のデザイン、仕様、外観は予告なく変更する場合があります。

品名	幅	奥行	高さ	製品重量	本体素材	色調
メインパネル	706 mm	935 mm	549 mm	4 kg	PP 複合樹脂	赤
エンドパーツ	280 mm	78 mm	540 mm	1 kg	PP 複合樹脂	赤
連結パーツ	420 mm	420 mm	586 mm	1.6 kg	PP 複合樹脂	黄・白(キャップ)

部品名	部品素材
止水ゴム（エンド用含む）	オレフィン系エラストマー
止水ゴムスポンジ	EPDM スポンジ
コーンリング	EPDM
ゴムパッキン	ウレタン系スポンジ

## オプション：

反射板（市販のφ40 三角コーン用反射板などが使えます）

夜間でも止水場所の視認性を確保できます。  
地下などの暗所での視角的な注意喚起にも役立ちます。

